



全労連青年部ニュース

# YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

## 全労連青年部第29回定期大会開催



全労連青年部は2016年9月24日～25日の両日、全労連会館2Fホールにて第29回定期大会を開催しました。全労連井上久事務局長、全商連青年部協議会下杉陽介事務局長、東京法律事務所・明日の自由を守る若手弁護士の会、青龍美和子弁護士から来賓のあいさつをいただきました。

全国から集まった青年の活発な討論と交流により、青年ならではの取り組みや思いが旺盛に語られ、16年度方針の確立にむけ熱く議論を交わし、メインスローガン「青年の未来をつくるため！いかせ憲法！ふやせ仲間！」を確認しました。青年の悩みや不安に寄り添い、ともに解決に向けて歩いていくこと。そして、低賃金、長時間労働などの社会問題を解決して、暮らしにゆとりを取り戻すこと。憲法を守り活かし職場の働き方をよくするために、職場・地域を軸に展開される全組合員参加型のとりくみに積極的に参加していくことなどを柱とした方針を確立しました。役員選挙を行い13人の役員を選出しました。

### 🍊 青年の思いと現状

初日は憲法・平和、組織拡大、最低賃金の三つの取り組みについて徳島県労連、生協労連、愛労連からリード発言ののち分散討論が行われました。分散討論では「最賃1500円パーカーをつくった。統一感を持ってにぎやかにやっていると感じ込み参加などもちらほらある」「一度やってみて面白くないと思ったら別のアプローチを考えればいい」などの活発な意見が交わされました。



二日目の全体討論では「青年の統一行動をよびかけ、戦争法廃止署名や増員署名など青年独自の宣伝行動を呼びかけ、各地で取り組みが進んだ」(医労連)、「交流企画として京都最賃探索と題し、求人広告の最賃調査。32件中4件の違反をみつけた」(京都)、「参院選前に新しく有権者になった人向けに浴衣を着て笹を用意し、七夕街頭宣伝を行った」(徳島)、「東海北陸ブロックサマーセミナーを富山で開催し、目標60名を上回る70名が参加した。開催後、富山でも青年部をつくりたいと相談が出ており、青年の活動の盛り上がりが出つつある」(東海北陸ブロック)など青年部活動の現状、青年ならではの取り組みや思いが旺盛に語られました。

### 🍊 学びと交流が広がっている

全体討論をうけて郡司一徳副部長が総括答弁を行い「青年企画コンテストで他の組織が行っている企画を取り入れるなど、学びと交流が広がっている。みんなでさらに活動を盛り上げたい」と決意を述べました。続いて青年企画コンテストの表彰式が行われ32のエントリーの中から参加者全員の投票によって自治労連青年部(1位)、建交労青年部(2位)、岐阜県労連青年部(3位)がそれぞれ選ばれました(青年企画コンテスト一覧を後日青年部HPに掲載いたしますのでご興味のある方はそちらをご覧ください)。最後に青山泰希常任委員の音頭で会場全員の団結ガンバロー！で大会を締めくくりました。

### お知らせ

9月30日、全労連青年部が実行委員会として参加している若者憲法集会実行委員会よりアピール文『憲法改悪を阻止し、憲法を守り生かす政治を私たちの力で実現しよう』が出されました。アピール文に関しましては<http://wakamonokenpou3.wixsite.com/wakaken20160515>より閲覧できますのでそちらをご確認ください。



## 2016 年新役員体制

部長	不在	嶋岡 聡 (全印総連)
副部長	郡司 一徳 (国公労連)	保科 雄治 (医労連)
	阿部 のぞみ (全教)	池内 亮太 (自治労連) <新>
	八重田 景子 (長野県労連) <新>	青山 泰希 (道労連)
書記長	五十嵐 建一 (全労連)	弓田 盛樹 (岡山県労会議)
常任委員	菅野 雅臣 (建交労)	稲葉 美奈子 (愛媛労連) <新>
	中岡 健太 (生協労連)	香月 恒二 (佐賀県労連)

# 大会宣言

この1年間、戦争法廃止へ向けた歴史的な共同が広がり、全労連青年部は戦争法廃止の運動の先頭に立って奮闘してきました。7月10日投開票で行われた参議院選挙では、全ての1人区で野党統一候補を擁立することができました。32の一人区のうち11選挙区で野党統一候補が勝利し、今後のたたかひの発展方向を示す重要な到達を築くものとなりました。一方、改憲勢力が2/3以上となったことを考えると、改憲阻止の運動は今後、重要課題となります。このような情勢のもと、第29回定期大会を開催し、全国の青年たちの奮闘が交流され、青年の要求や思いが語られた大会になりました。

戦争法廃止、立憲主義、民主主義の回復など市民の共同は広がりを見せ、今では最低賃金の引き上げ、学費の無償化、働くルールの確立など生活を守る運動でも共同が実現しています。これまで政治・社会問題に関心のなかった多くの青年が立ち上がり、運動に加わっていることは、多くの人に希望を与えています。戦争する国づくりを許さないことはもちろん、憲法が私たちの暮らしの根底にあることを学び伝えていくことが大切です。それは、運動に参加している青年自身も、長時間過密労働や自己責任を強いられるなど困難を抱えているからです。

青年部に求められるのは、青年の悩みや不安に寄り添い、ともに解決に向けて歩いていくこと。そして、低賃金、長時間労働などの社会問題を解決して、暮らしにゆとりを取り戻すことです。憲法を守り活かし職場の働き方をよくするために、職場・地域を軸に展開される全組合員参加型のとりくみに積極的に参加していくときです。

討論・発言では、「戦争法はいらない」「働く環境をよくしたい」「仲間を増やしたい」との要求をかなえるにはどうすればいいのか話し合いました。「メンバーが忙しく参加者を集めるのが大変」「最賃の引き上げと合わせて長時間労働の改善が必要」との悩み、「青年部を作りたい」「交流した経験を活かしたい」「いい職場をつくるために仲間を増やしたい」との決意が語られました。組織拡大では、「青年部のない組織でブロック集会を開催し、青年のつながりをつくることができた」など地域を超えて青年部同士が助け合う経験が報告されました。戦争法廃止に向けては、これまで街頭宣伝を行ったことのない青年が、準備から訴えまですべて自分たちで行い、自覚的に政治・社会課題にとりくんでいく姿が発言されました。青年の思いを実現するためには、仲間と一緒に模索しながら行動を起こすことが必要です。活動の中で、多くの青年とつながり、青年が組合運動をつくっていく主人公として活躍していきましょう。全労連青年部は全力で奮闘することをここに宣言します。

2016年9月25日  
全国労働組合総連合青年部第29回定期大会